

第62期 ～期首によせて～



風薫る5月を迎え、当社も第62期が始動致しました。

2023年には一時的に1ドル130円程度まで値を戻した為替もその後また下落基調に転じ、最近では160円をも窺う円安となっております。これには日米の国情による経済政策の違いや結果としての金利差なども勿論あるかとは想われますが、その根底には少子高齢化やモノづくりにおける国外への技術流失ならびに諸般の残念な状況による絶対的な品質の毀損(made in Japanの凋落)、また世界的な潮流であるDXへの乗り遅れなどに端を発する、様々な国力の相対的な低下(≒円価の下落)があると思われます。これは今後もしわじわと効いていく事は論を俟たないでしょうし、2025年にはGDPもドイツに続いてインドにも抜かれ、世界5位に落ちるであろうという予測もでております。そしてこの円安基調による諸物価や資材の高騰は人々の暮らしや企業の生産活動を直撃・圧迫し、厳しい運営を迫られておる現実があります。

さて、世界的な紛争や国際要因、それらに伴った経済の停滞等もあり、厳しい中での本年度スタートとなりましたが、第三次中期経営計画の二年目に当たる今期は、満を持してのIT化の推進、種々のインフラの整備、国や自治体の補助金を活用した設備の導入等、積極的な投資が計画されております。設備メンテナンスコスト計画(弊社・生産会議)を土台とした、精緻さを併せ持つ形で進めて参る所存でございます。

日出ずる国・日本はやはり世界を主導する、ものづくりを根幹とした生業の国であるべきだと思いますし、それが実直で真面目な国民性にも合っている気が致します。弊社も愚直ながらもコツコツと信頼を積み上げ、今期もまた社員一丸となって価値創造企業を目指し、皆様のお役に立てることを願っております。

ご指導ご鞭撻のほど、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

第62期 『経営社長方針』

本年度は満を持してIT化の推進、種々のインフラの整備、国や自治体の補助金を活用した設備の導入等、積極的な投資が計画されている。数値による経営目標の管理ならびにその達成に向け、社員一人ひとりがマネジメントの視点でそれらを俯瞰し、遂行し、全社一丸となって貫徹に向け邁進しよう。そしてやり甲斐と輝き、そして幸せはそこにあることを信じ、全社員参加による盤石な組織づくりを目指し進もう。

島崎熱処理株式会社
代表取締役社長
嶋崎利行

第3次 中期経営計画

中計「3ヵ年 経営方針」安全と健康は全てに優先する！
Shimanetsuは品質第一！ 5S3定推進！ リスク排除で安定操業！



■ 経営目標 「浸炭・高周波事業の取扱拡大、新規取引G'10の推進」

1. Shimanetsu 「目指す姿」

1960年創業、金属熱処理事業一筋でお客様から信頼される企業活動に専念、当社の理念である「安全・品質・納期・コスト」をベースとした「S.Q.D.C」活動を展開し、企業価値の向上に邁進する。お取引様から頼られ信頼と安心と喜びを提供する価値創造企業を目指す。

2. Shimanetsu 中期経営計画「2025 経営目標値」

* 営業利益率 5.0%以上

3. Shimanetsu 戦略「Make a Move (一步踏み出そう)」

- * 最適生産管理システムの構築による **デジタル化**の推進
- * 技術力、生産力、営業力、管理力の組織総合力で **需要変動の対応力強化**
- * 適正利益の確保と **強靱な財務体質**を構築
- * **S.Q.D.C**の推進による企業価値の向上
- * 熱処理業界で **圧倒的企業**を目指す



3ヶ年 戦略ロードマップ

3 ヵ年 戦略ロードマップ

部署	戦略目標	重点施策	実施事項	完了目標
営業	新規取引の獲得【G'10】	浸炭・高周波製品の取扱拡大	新規品・顧客開拓	10件
	主力顧客との取引安定化	各製品の取扱拡大	取扱量	50%増
製造	無事故・無災害【0災】	安全衛生活動の定着	5S3定「0災運動」	1回/月
	生産量・力の増強	設備保全・更新	計画的メンテ	計画実行率98%
品証	品質の維持・向上	品質バトロール	リスク抽出・対策	1回/月
		品質技術力の向上	他社品質部門と技術交流会	3社
生管	生産管理の デジタル化	生産システム構築	システム導入運用	2024年
	配送方法の見直し・改善	運送業者の開拓・確保	配送の外注化	2024年
業務 (経理・総務)	財務体質の改善	損益分岐点売上高の押し下げ	固定費用の縮減	目標数値
	人財確保・育成	教育機関へのPR活動	就活窓口と密着度UP(計画的コタクト)	新卒(中採含む)3人

- ・3ヶ年計画の2年目となる今期も各グループ引き続き目標達成に向けて活動していきます。
- ・8月、12月には戦略会議を実施し活動の進捗を全社で共有しています。

編集後記

生産管理システム導入や各設備更新等、今期も少しずつではありますが邁進してまいります。

第3次中期経営にも書かれていますが、お取引様から頼られ信頼と安心と喜びを提供する価値創造企業を目指していきますので今期も宜しくお願い致します。

今期も「SIMCO通信」を発行しますので関係者の方々のご愛読宜しくお願い致します。

(担当 山村)